

- 「周波数資源開発シンポジウム2003」の開催について

- 平成15年5月8日

---

近年社会の情報化の進展により、電波の利用は多様化するとともに電波に対する需要は急増しています。このような電波利用環境の変化及び電波需要の増大に対し、将来とも安定した周波数の供給を図るためには、利用できる周波数帯の拡大を図るとともに既に利用されている周波数帯の効率的利用を促進する周波数資源開発を推進する必要があります。こうした要請から、平成5年より毎年、周波数資源開発シンポジウムが開催されており、独立行政法人通信総合研究所と社団法人電波産業会は、一昨年より同シンポジウムを主催しています。

今回のシンポジウムでは、最近、家庭やオフィスで急速に普及しつつある無線LANに焦点をあて、その発展動向やセキュリティ確保、無線LANを取り巻く新しい周波数有効利用技術等について、その研究及び開発に携わってきた内外の専門家の方々にご講演いただきます。本シンポジウムは、情報通信月間参加行事です。

- 1 日 時 : 平成15年5月26日(月) 13時より
- 2 場 所 : 明治記念館 (東京都港区元赤坂2-2-23)
- 3 主催 : 独立行政法人通信総合研究所  
社団法人電波産業会  
後援 : 総務省(予定)  
財団法人電気通信普及財団  
協賛 : 情報通信月間推進協議会
- 4 申込み方法 : 以下のホームページより申込み  
<http://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>
- 5 参加費 : 無料
- 6 内容 : 講演 6件(うち国外講演2件 同時通訳つき)
- 7 プログラム : 下記

---

## <問合せ先>

横須賀無線通信研究センター  
若菜弘充 TEL:0468-47-5050  
雨谷 純 TEL:0468-47-5078

---

# 情報通信月間参加行事 周波数資源開発シンポジウム2003 プログラム

(敬称略)

時 間	次 第	講 師
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	独立行政法人通信総合研究所 理事 塩見 正
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省総合通信基盤局 電波部長 鬼頭 達男
<b>セッション1:無線LANの発展動向とセキュリティ確保</b>		
13:10～ 13:50	講演1 無線LANシステムと関連技術の最新動向	Vice Chair, IEEE 802 <sup>1</sup> , Technology Consultant, AT&T Labs Dr. Matthew Sherman
13:50～ 14:30	講演2 無線LANのセキュリティの将来	Assistant Professor, University of Maryland Dr. William Arbaugh <sup>2</sup>
14:30～ 15:10	講演3 無線LANネットワークへのロードマップ	独立行政法人通信総合研究所 横須賀無線通信研究センター モバイルネットワークグループリーダー 東京大学大学院新領域創成科学研究科 助教授 森川 博之
15:10～ 15:30	(休憩)	
<b>セッション2:無線LANを取り巻く新技術の展望</b>		
15:30～ 16:10	講演4 ユビキタスITの技術動向と今後の展望ーセキュ リティ技術を中心としてー	日本電気株式会社 インターネット研究所 所長 阪田 史郎
16:10～ 16:50	講演5 モバイルアドホックネットワークの技術動向と 利用例	新潟大学 工学部情報工学科 教授 間瀬 憲一
16:50～ 17:30	講演6 ユビキタス・ブロードバンド無線アクセスを支え る新技術 ーMIMO <sup>3</sup> とソフトウェア無線ー	日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 ワイヤレスシステムイノベーション研究部 部長 梅比良 正弘
17:30～ 17:35	閉会挨拶	社団法人電波産業会 専務理事 若尾 正義
17:35	閉会	
(英語の講演には日本語の同時通訳が付きませ)		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. IEEE802: 米国電子電気学会(IEEE)の中でLAN及びMAN(Metropolitan Area Network)の規格を策定する委員会</li> <li>2. 無線ネットワークセキュリティの専門家、IEEE802.1x(無線LANで利用される認証、制御に関する規格)で用いられる認証プロトコル(EAP)の技術アドバイザー等をつとめる。</li> <li>3. MIMO(Multi Input Multi Output): 送受信の両側に複数のアンテナを用いて、同一周波数で複数チャネルの伝送を行う技術。 今後の無線LAN等の高速化への適用が有望視されている。</li> </ol>		